

## 第 43 回 中国ミニバスケットボール大会 出場報告書

平田エンジェルス 監督 大鶴 孝

平田エンジェルスとして初めて中国ミニバスケットボール大会に出場することが出来ました。

全国を狙えるスキルは持っている、そう選手達に伝えた時から自分たちが意識をし、切磋琢磨しあいながら目指した地区予選、県決勝大会はまったく普段のプレーが出来ず悔しい思いをした。決勝大会 3 位決定戦ではチーム全員が一致団結していたのが見て分かった。そこはこちらから指示したのでは無く、選手一人一人が同じ思いでこれまでの練習、努力そして、お母さん、お父さん達に支えられてここまで来れたことを振り返り、やることは一つ。それはやりきること。応援者みんなが応援席からそれが分かっていたのでいつもより熱く励ましてくれたのが選手にも伝わっており、その結果が 3 位獲得の経緯。

この経緯の前置きは、その思いがあって中国大会に挑んだからです。

夢を果たせなかった後悔、それに加え、これまでお世話になったお母さん、お父さん、関係者の皆さんへの恩返しを含めて、次のカテゴリーへのステップアップに繋げていくことを全員が胸に抱いて。

今年度、岡山県のレベルの高さは周知で簡単にはいかないことは分かっていました。

ベンチ的には形はどうであれ、最後はやりきって終わって欲しい思いでした。

6 年生は特に後悔はしたくない一心から、緊張からか心と体の不一致と戦いながら仲間を助け合い、後の試合のことは考えずに一戦一戦に集中して挑んでいました。

ほぼ岡山県チームと戦うことが多く、それぞれにエースが存在し能力も非常に高く、また高身長が多い印象。最後の決勝ではこの高身長の選手を主軸として攻守共に立ちはだかれ、上手いように攻めきれなかった。15 点近く前半で引き離されたが全員バスケットを目指して練習にいそしんできた甲斐あって主軸選手を中心に後半は各人がそれぞれの仕事をし、最後 2 点差まで追いついたが、あと一歩が出ずに一か八かの勝負も不発で失点で終わり。

ここのミスやベンチ指示を意識しなくて失敗に繋がったところは、「失敗は成長に重要な要素」で、この反省は次のカテゴリーで活かして成長して行って欲しいと思います。

それでも、岡山県の強豪チームと肩を並べてよくここまで頑張って勝ち上がってきたと子供達を褒めてあげたいと思います。

そして、本大会で岡山県の運営関係者様たちから厚く歓迎を受け、おもてなしを受け感激しました。会場施設も 4 コート取れる大会場で選手達も羽を広げて(エンジェルだけに)伸び伸びとプレーできたのでは無いでしょうか。

2 日間、山口県の 12 部会関係者の皆様もお疲れ様でした。

■2 日間の結果については以下の通りです。

3 月 9 日 エンジェルス 38 vs 23 邑久 MBC(岡山県)

エンジェルス 33 vs 19 美鈴が丘 MBC(広島県)

3 月 10 日 エンジェルス 43 vs 26 万寿 MBC(岡山県)

エンジェルス 37 vs 41 ワラビーズ MBC(岡山県)

私達、平田エンジェルスの6年生は縁あって幼馴染のメンバー4人が1年生からずっと一緒にやって来ました。途中から2人加わり皆んなで頑張ってきました。4年生の時には全国大会に連れて行ってもらいましたが、勝利を掴むことは出来ませんでした。その時に先輩たちの姿を見て私たちも2年後もここに来たいと決意しました。全国の舞台で為し得なかった忘れ物を次に私達の代で取り返しに行く！と言う目標で、練習してきました。泣いたり、仲間が離れ離れになりそうになりましたが、その度にやっぱりベンジしたいと言うみんなの気持ちは変わらなかったで、全国へ行って勝利を手にする為に頑張ってきました。

県決勝大会の結果は3位。目標の全国の切符は逃しましたが中国大会出場は手に入れました。その中国大会ではこれまでの遠征や練習してきた事をすれば絶対優勝できると信じて挑みました。決勝まで進み、残り1分半で2点差まで追いつめましたが負けてしまいました。それでも準優勝と言う立派な結果を残す事が出来てとてもうれしいです。

これまで監督をはじめ、保護者のみなさん、大会関係の皆さんのお陰でバスケが出来る事に感謝したいです。本当にありがとうございました。

